

第三回学年幹事会 議事録

日時：平成 17 年 9 月 16 日（金）18：30～20：00

場所：京橋区民会館

司会：当番幹事 31 回生 上田栄治

1 招待者の変更報告

当番幹事より、前回の学年幹事会で承認を得たのち、招待者に変更があったので、以下のとおりとなった。

（恩師）

- (1) 上田 彰（数学） S 52～H2
- (2) 山本 武生（数学） S 45～55
- (3) 工木 武雄（保健体育） S 41～56
- (4) 丁畑 佐代（理科/生物） S 50～H5
- (5) 久米野 安俊（保健体育） S 49～58
- (6) 増田 和夫（国語） S 37～54
- (7) 本田 匡子（被服） S 17～23
- (8) 森 厚生（数学） S 37～45

（八高校長） 山田英利（高 1 7 回）

（八高同窓会副会長） 森 精一（旧中 4 4 回）

所要のため徳永三幸（高 4 回）氏が欠席の連絡あり、副会長森精一氏が代わりに出席

（八高同窓会事務局長） 高瀬計征（高 1 1 回）

2 総会出席見込み数の確認

当番幹事より、ホテルの予約およびテーブル配置決定のため出席予定者を各学年ごとに確認したい旨申出、各学年幹事より出席者の見込み数を発表してもらった。

3 総会のスケジュール（式次第）

本年の総会の式次第は、3部構成としたい。

第2部のアトラクションとしては、31回生による「彦一神社みこし」を実施したい。この神輿は八代で31回生の同級生が管理している関係で借出しのできるもので、他の学年では実施が難しいと思うので、今回の総会で行いたい。

当番幹事から、この「彦一みこし」には輸送費が予想以上にかかるようで、予算が20万円程度必要となる旨説明し、学年幹事会に了承を求めたところ、全員異議なく承認を得た。

抽選（お土産・景品）としては、以下の準備が進んでいる。

- ・彦一もなか 50個
- ・ホテル宿泊券 1組
- ・ペア食事券 3組
- ・クオカード 9枚
- ・その他、準備中

花束（10組）贈呈

花束贈呈は、21回生勝井さんに一任することとされた。

集合写真 例年どおり（スタジオ・エースプロに手配済み）

4 総会の食事

ホテルと協議し、郷土料理、高齢者も好まれる食事の提供をお願いした。

いきなり団子、だご汁、タイピエン

甘味を多くするようお願いした。

5 総会の設備・掲示

プロジェクターは持込可能（調達可能か検討中）

プロジェクターのホテル借入には10万円程度の費用負担が必要であるため、幹事の関係からの借入ができないときは断念する。

スクリーンは会場据付のため費用負担なし

会場の横断幕

- ・ホテル（「平成 17 年度熊本県立八代高等学校関東地区同窓会」）

テーブル 「卒業学年」をテーブルに衝立表示

メニューの表示 ・だご汁など

昨年メニューの表示がなく、郷土料理があっても食べられなかったとの指摘があったことから、メニューの表示を用意したい。

掲示物 ・昨年の総会の写真掲示

- ・八代の写真

- ・会報通信葉書メッセージの掲載

6 恩師等お迎え（9名）

当番幹事から、「招待者が確定し航空券の手配も終わったので、先生方を羽田空港でのお出迎えは、以下のとおりお願いしたい。すでに先生方には、後本さんの携帯電話の番号をお教えしてあるので、よろしく申し上げます。」と依頼し、後本氏から事前に「彦一はっぴ」をお送りいただければ、はっぴを着て出迎えたい旨依頼があった。

（担当）田口さん、後本さん

（方法）西武タクシー（時間貸し）15人乗りマイクロバス

（出迎え恩師ほか）上田 彰、山本武生、工木武雄、丁畑佐代

久米野安俊、増田和夫、山田英利、森精一、高瀬計征

7 物産展

- (1) 熊本館に依頼 ・商品買取（鮎甘露煮、高菜など） 60,000 円程度
- (2) 彦一本舗 ・彦一もなか 500×50個 25,000 円
- (3) 総会当日の担当者（熊本館からの応援あり）

8 会則改定の件

本会の会則について副会長の上田栄治から、「前回の学年幹事会において説明したとおり本会の会則を改定したい。内容的には、すでに学年幹事にお送りした資料に添付したとおりである。この改定案は、素案を副会長の上田栄治が作成し、他の副会長、監査委員、顧問が集合して協議した結果であり、この学年幹事会で承認されたときは、役員からの提案として今回の総会に提出する予定である。この会則改定については、一部の顧問から、とくに会長候補の資格規定について反対意見があったが、他の役員からは異議なく了解されていることを報告しておく。」として、学年幹事会に諮ったところ、

学年幹事の員数は学年「3名」以内というのは多すぎないかとの意見があったが、上田より、「現在の学年幹事の中には、その学年で幹事が3名いる学年もあり、現状に合わせたものである」と説明した。

学年幹事会の決議方法は、出席者の多数決となっているが、その学年幹事が多数出席した場合を想定すると、各学年1票とすべきではないかとの意見があり、上田より「過去そのような取扱をしたことはないが、学年幹事会の意見がそのようであれば10条ほかの規定を『各学年を1票とし』と訂正したい。」と回答した。

今後の総会の維持を考えると、当番学年幹事の職務の軽減を明確にすべきである。総会部分と宴会部分とを分けて役割分担するなり、会計事務は別の幹事が担当するなどの配慮があってはどうかとの意見があり、上田から「同一期日に行う総会について、総会部分と宴会部分を明確に分けることができるか、できたとして別の担当者が事務をスムーズに行うことができるか疑問がある。会計事務も実際に経費を支出している当番幹事が行わないと二重手間が発生してしまう可能性があり、実際に役割分担できるか今後検討したい。いずれにせよ規則としては、事務担当幹事の規定を利用して、会計事務を委嘱する担当者を選任することで対応可能と考える。」と説明し、議場から折衷案として、当番学年幹事は「事務局長および事務担当幹事の補佐を受けて」との文言を追加することが提案され、議場異議なく了承された。

会長推薦について、5学年以上の幹事の推薦とあるが、とくに出席が多く、

功労のある学年と、その他の学年とで同じ扱いとするのはどうかと思うとの意見があったが、上田より「この規定は、会長候補者が広く年代に支持されるような人物を会長の候補者としていたいということであり、逆に5学年程度の支持がない方が会長候補となることが問題ではないかと考えた結果として規定した。この規定は、会長候補者の確定前の推薦段階の手続を規定したもので、多数決を意味しないから、とくに学年幹事の多寡などの議論も必要ないと思う。また、ここで各学年の功労の有無を問題とするのでは、その評価基準を明確にしなければならなくなって、会則として規定できなくなるので、規定としてはこれで十分と思う。」旨説明した。

最後に、会長候補者の資格規定を設けるのは違和感があるとの意見があったが、上田より「本学年幹事会は、ここ10年以上にわたって古い過去の経費使用問題や会長の選出方法をめぐって現在の役員への批判などが繰り返されており、今回の横田副会長の会長候補確定にあたって他に立候補の動きがあったことは事実であり、また前回の学年幹事会でも会長候補者の選定過程についての疑問が指摘されている。私としては、将来の本同窓会の長期にわたる維持を考えると、ここで会則を改定して、この問題に決着をつけたいと思う。現在顧問として選任しておられる方々は、本会の役員などを経て創設や維持に相当の功労があったと認められて顧問となっておられるのであるから、その点の評価としては顧問の委嘱ということで十分なされていると認識している。それにもかかわらず、顧問経験者が今後会長として再度本会の執行にあたられるような事態となることは『時計の逆戻し』であり、会の今後の円滑な運営という観点からは問題が多いと思う。ご理解願いたい。」旨説明したところ、議場から「この会則案の規定が最適である。」旨の発言があり、学年幹事に諮ったところ、この会則案の規定で了承された。

顧問の方を会長に推したいとの意見が学年幹事会で多数となった事態が生じた場合をどうするかとの意見があったが、上田より「将来ご指摘のような問題が生じたときは会則の改定などの手続が必要となるが、基本的に現在の顧問は、本会の役員などを経て創設や維持に相当の功労があったと認められて顧問

となっておられるのであるから、今後再度会長に推薦するという事態は考えられない。」と説明した。

以上の審議を踏まえ、会則の改定案を今回の総会に提案することを承認願いたい旨諮ったところ、出席の学年幹事全員異議なく、これを承認した。

なお、ホームページ担当者から、会則の改定について、会報にその旨が記載できなかった関係で、早急に改定案をホームページ上にアップしたい旨申出があり、できるだけ早く対応したい旨返答した。

9 来年の当番学年幹事

来年の当番学年幹事は32回生が中心となるべきところ、32回生は過去幹事会への出席がなく、総会の維持に支障があることが懸念されていたが、32回生が総会に2～3名出席することが明らかとなり、幹事引継ぎができることになった旨報告された。

10 八代新市長

八代市はこの度周辺郡部と合併して新市を設置することとなり、平成17年9月4日「八代市長・市議会議員選挙」が実施され、八代高校28回生 坂田孝志氏（八代郡千町在住、48歳前後）が当選された。同窓生として名誉なことであるので、総会の場で、その旨発表してもらいたい旨の意見があった。当番学年幹事はその旨を了解し、司会者として、その旨発表することとした。

そのうえで坂田新市長が総会に出席されたときは、どのように取扱うかが問題とされ、当番学年幹事の意見としては、「司会者として壇上に上ってもらいご紹介をするが、とくにスピーチの時間はとらないこととしたい。本会は、政治的なものは一切排除することを旨に運営したいので、この点は、当番幹事にご一任願いたい。」旨説明し、議場に諮ったところ、満場一致で、当番学年幹事に一任することとなった。

以上